

朝日新聞

DIGITAL

「桃神様」なでて厄除け

2016年4月15日 10時12分



川越八幡宮の新たなパワースポット「桃神様」。後ろはご神木のしだれ桃

◇川越

創建約1千年の川越八幡宮（川越市）に、新たなパワースポットが登場した。桃神様こと「意富加牟豆美命（おおかむづみのみこと）」。桃は魔よけの神様とされ、無事故や厄よけのご神徳を求める参拝客が多いことから、本殿横にしだれ桃を植えてご神木とし、今月初めに入魂式をした石造りの実を設置した。

イザナギノミコトが桃の実を投げつけて悪霊を退散した「古事記」の逸話が、桃の神格化の由来という。石像は高さ約80センチの石柱の上に桃の実が載る。桃の周囲には十二支を彫った石が配されている。榊原祥光禰宜（ねぎ）（49）によると、川越八幡宮は七五三やお宮参りなどのほか、厄よけを願う参拝客がほとんど。「本殿へお参りし、えと石に触れて桃の実をなでるとご利益が倍増するでしょう」